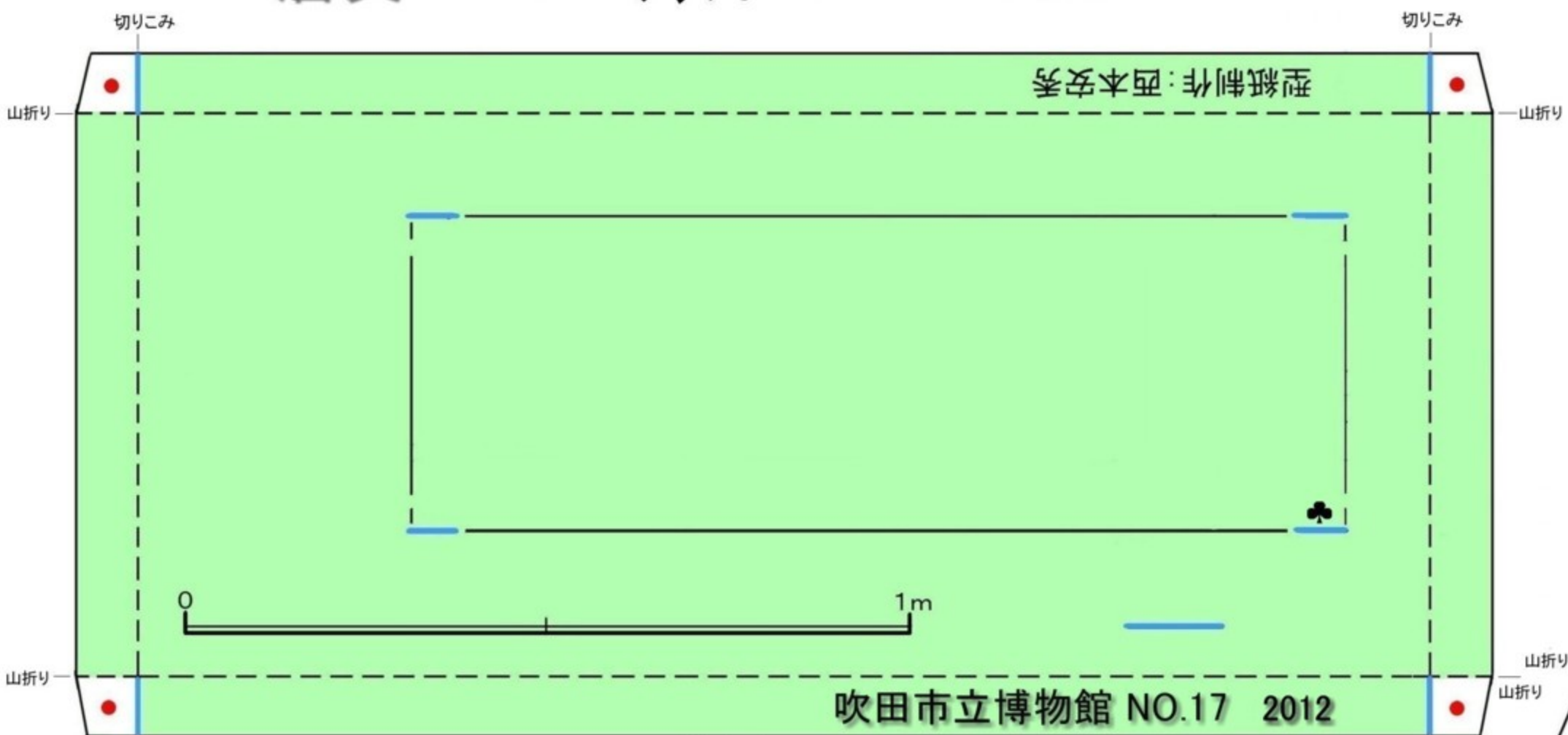


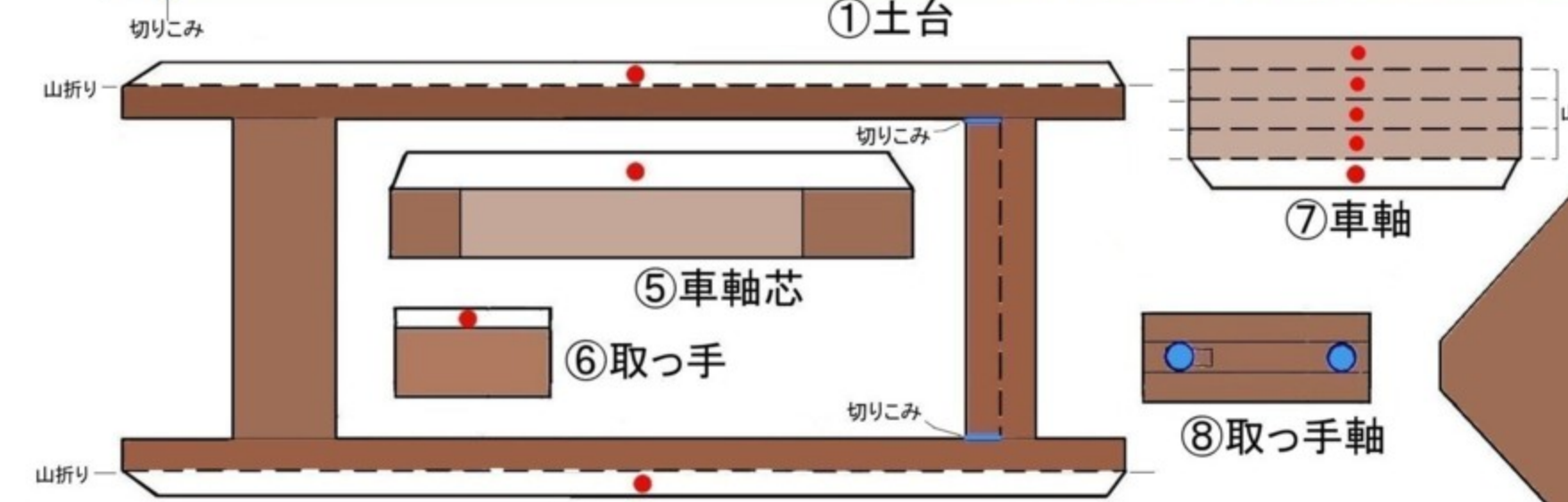
- 凡例
- 切りこみ
 - - - 山折り
 - · - 谷折り
 - のりづけ
 - うらのりづけ



<完成写真>



①土台



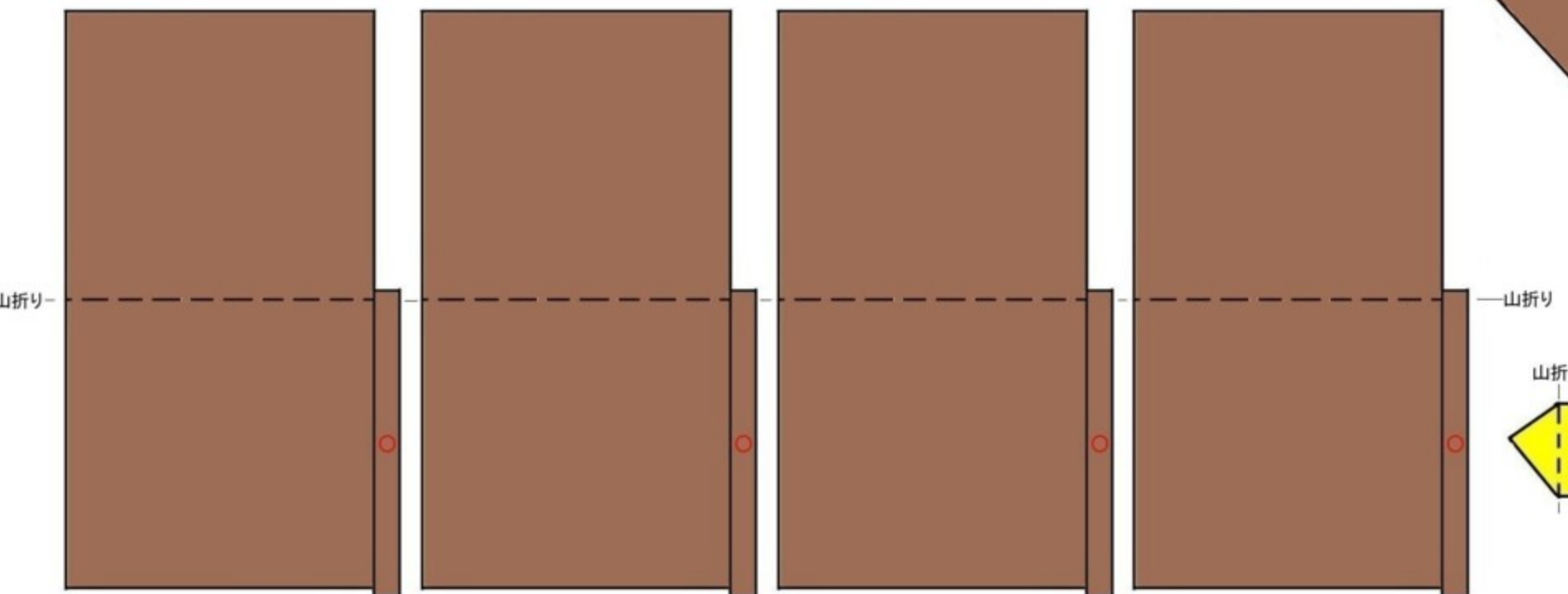
②後ろ脚

⑦車軸

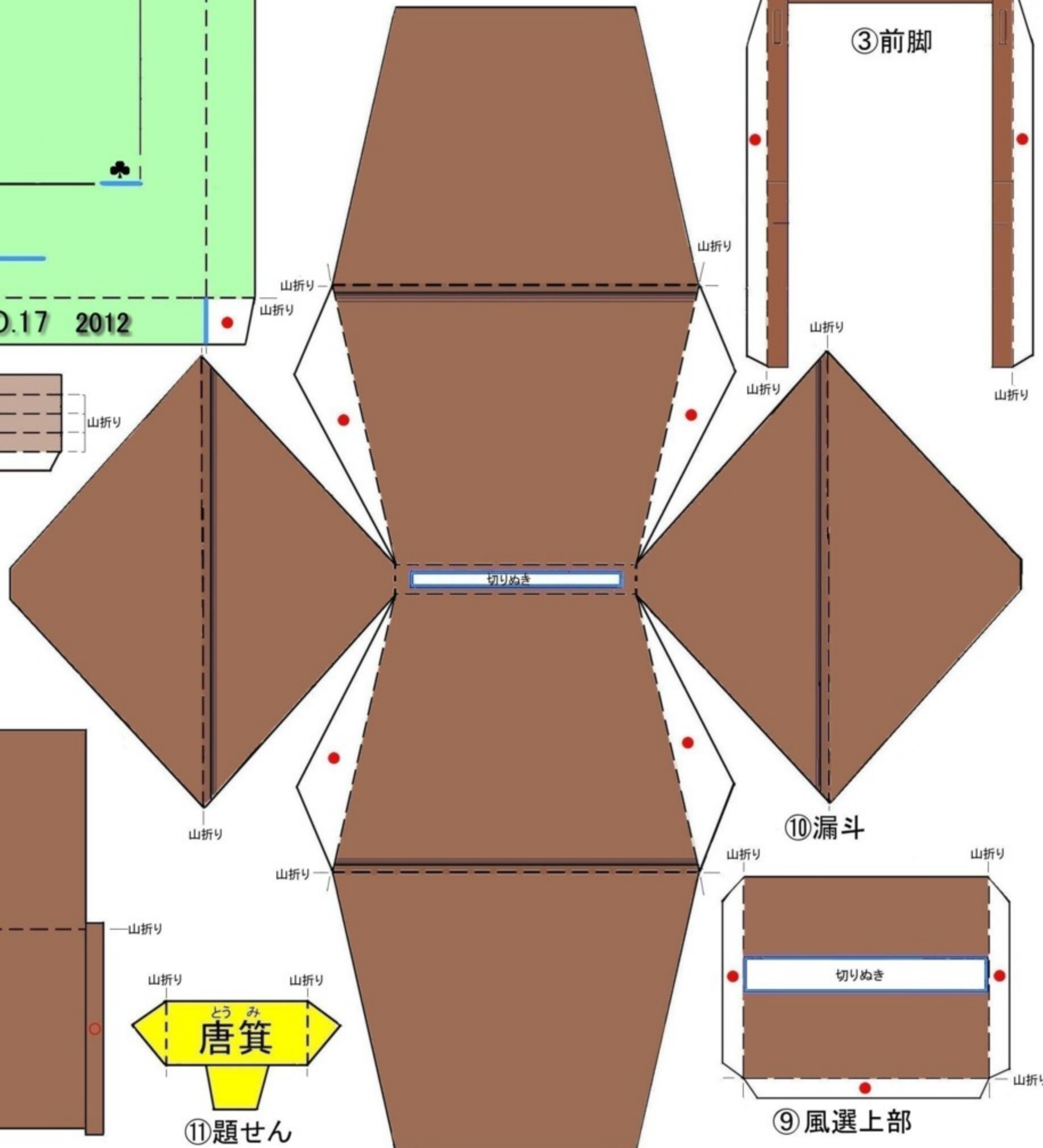
⑤車軸芯

⑥取っ手

⑧取っ手軸



④板羽根



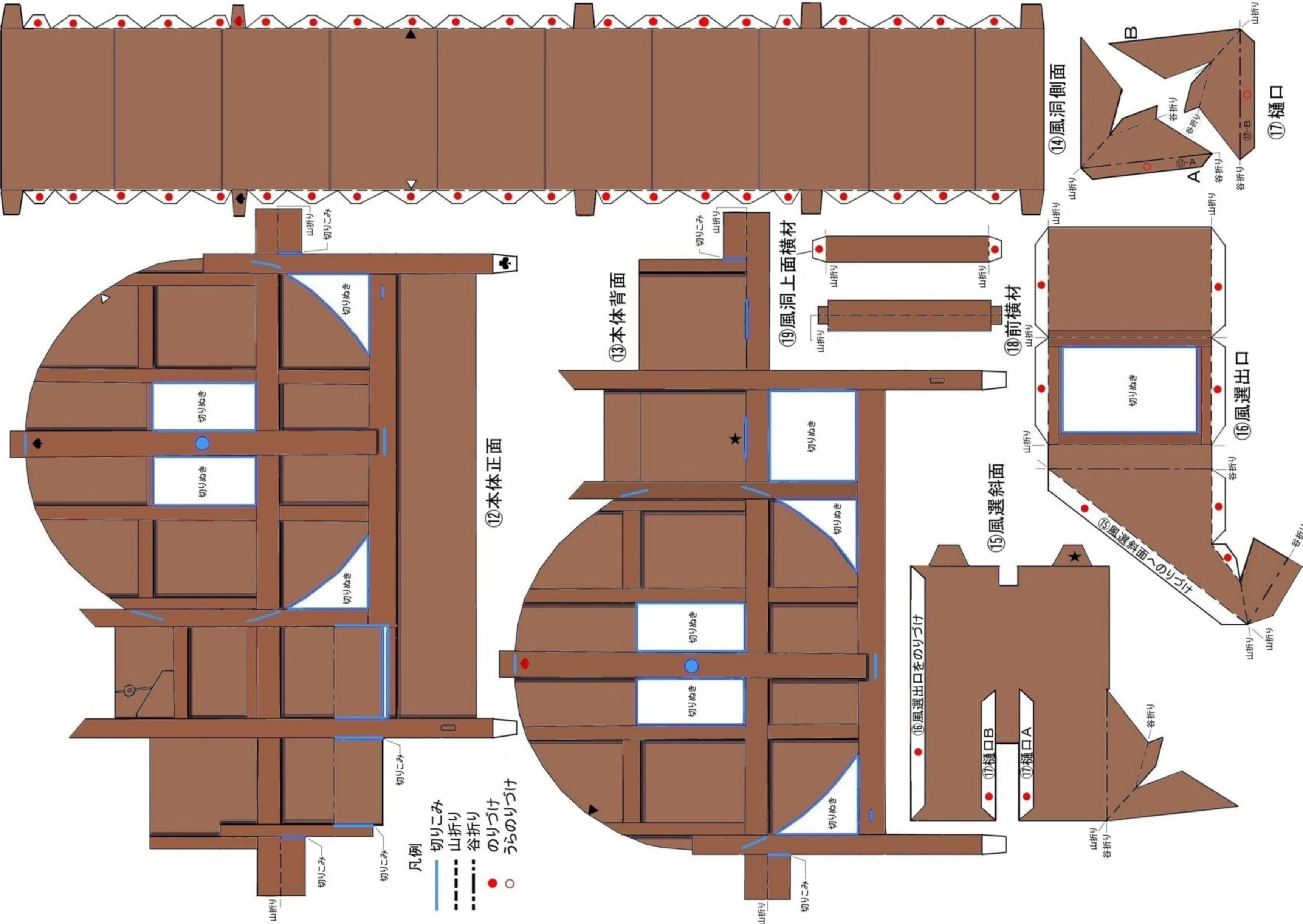
③前脚

⑩漏斗

⑨風選上部



⑪題せん



- 凡例
- 切りぬき
 - - - 山折り
 - · - 谷折り
 - のりづけ
 - うらのりづけ

⑫ 本体正面

⑬ 本体背面

⑮ 風選斜面

⑭ 風洞側面

⑯ 風選出口

⑰ 樋口

⑲ 風洞上面横材

⑱ 前横材

● ⑯風選出口をのりづけ

● ⑰樋口B

● ⑰樋口A

⑮風選斜面へのりづけ

B

A

⑰-A

⑰-B

山折り

切りぬき

切りぬき

凡例

— 切りぬき

- - - 山折り

- · - 谷折り

● のりづけ

○ うらのりづけ

山折り

切りぬき

切りぬき

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

山折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

切りぬき

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

谷折り

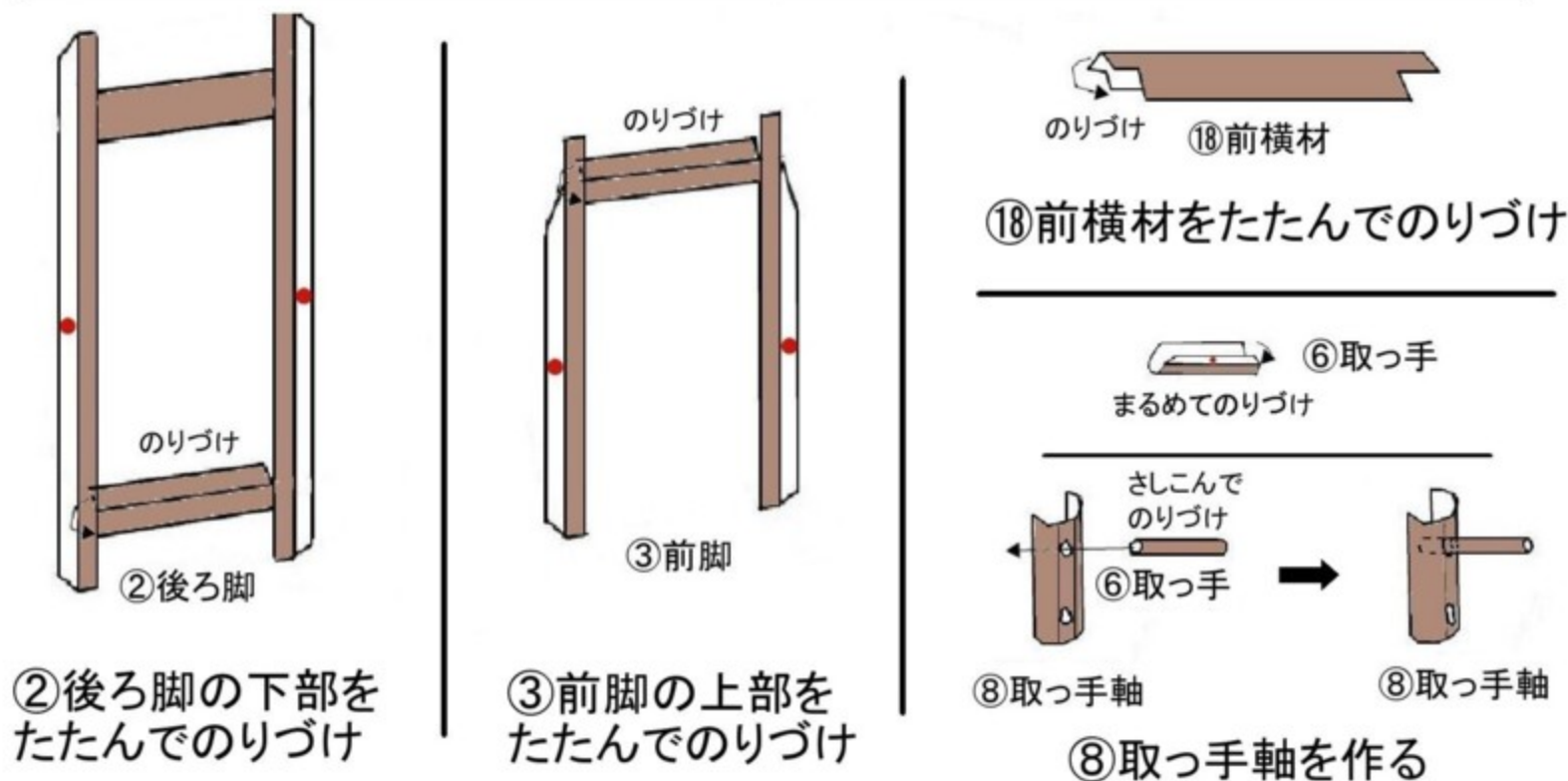
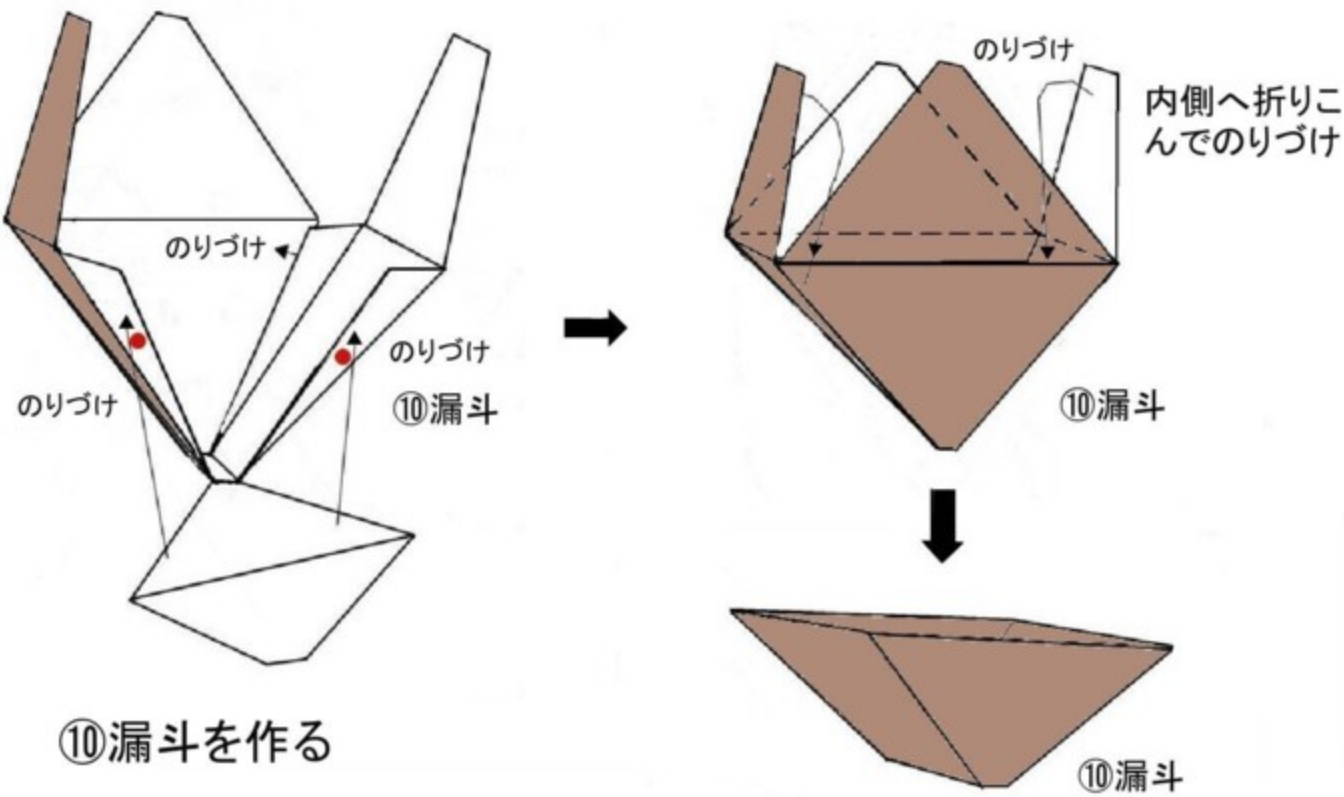
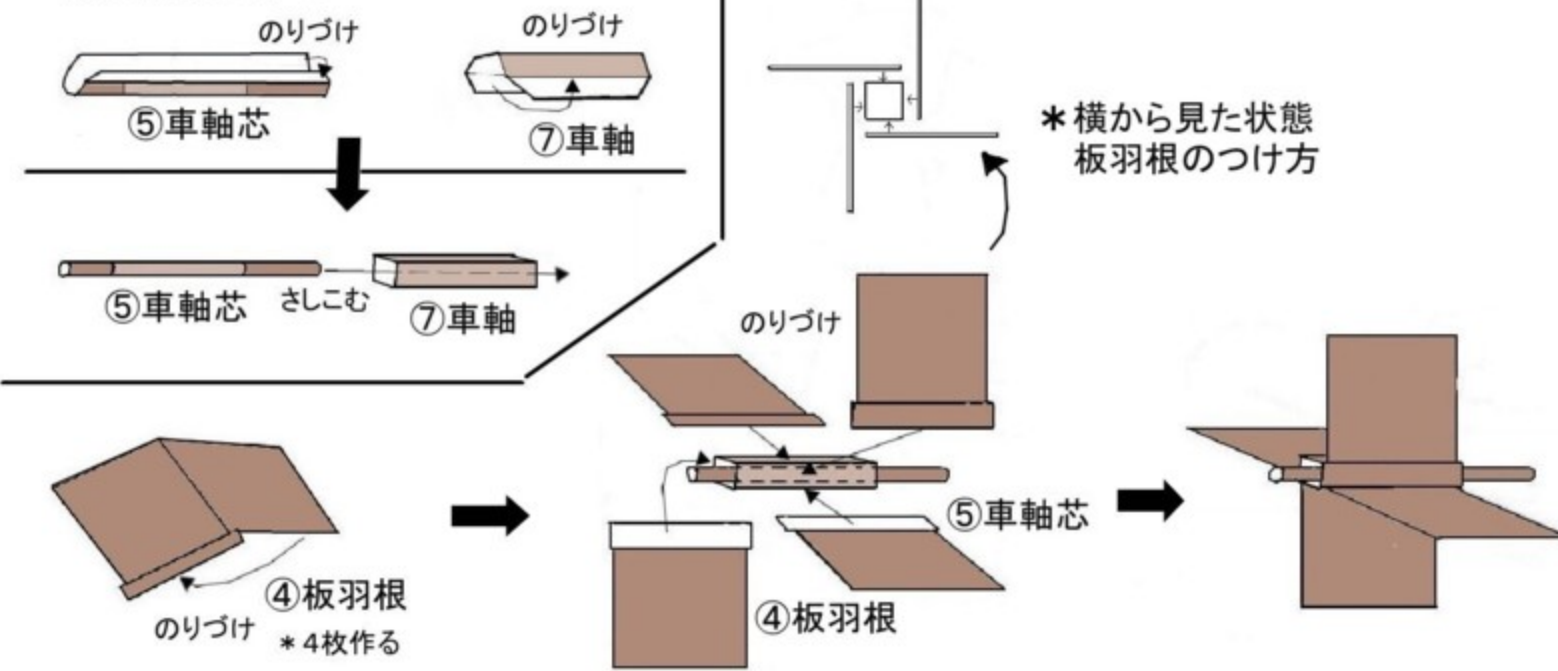
『唐箕』の組み立て方

吹田市立博物館 NO.17 2012

<1 各部品を作る>

*各部品にきりこみを入れてからきりぬく。

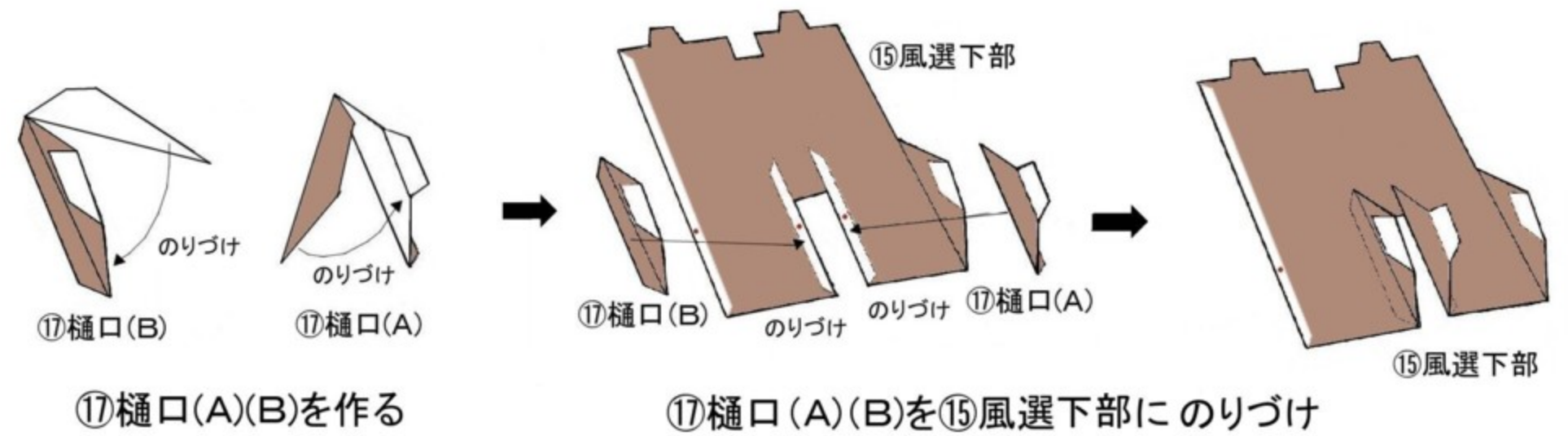
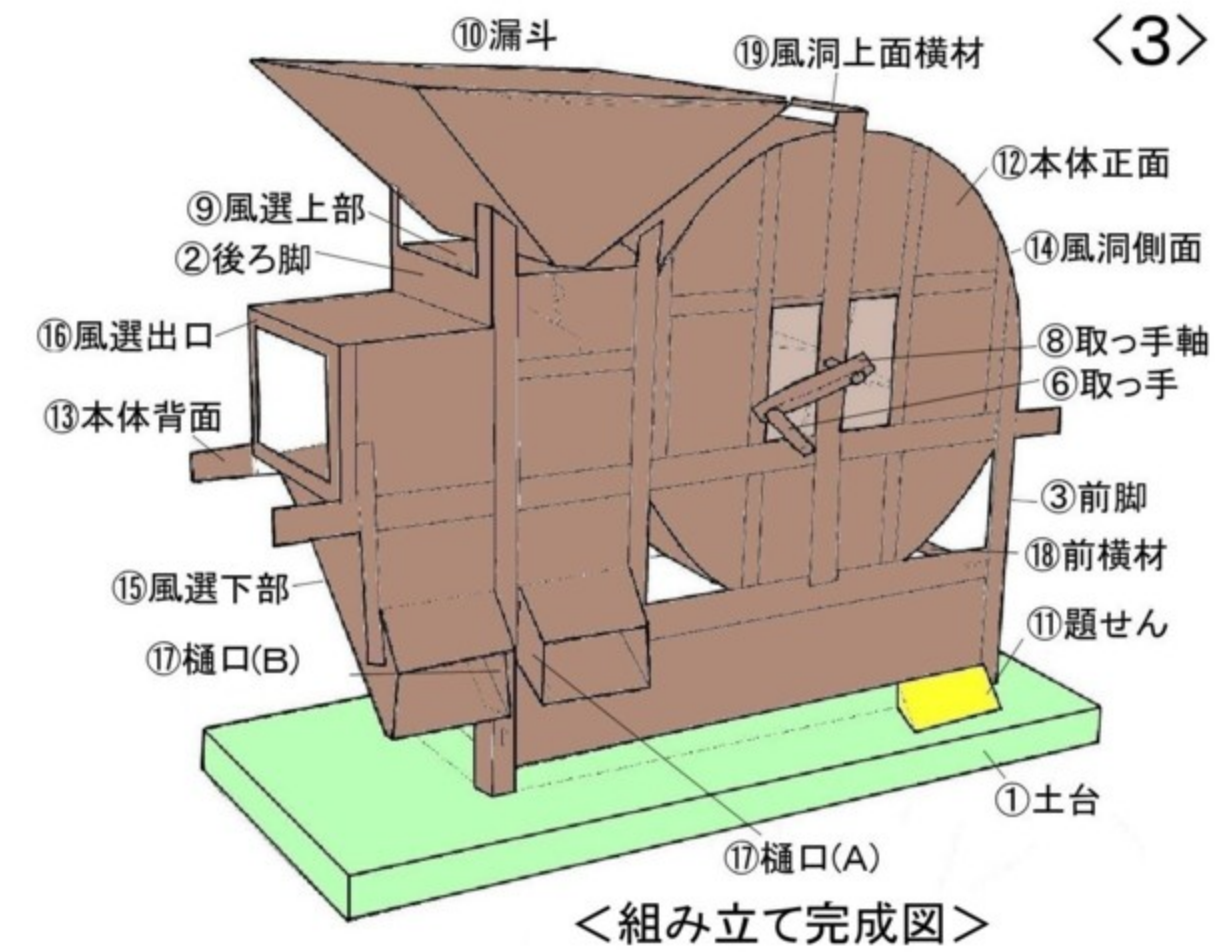
板羽根を作る



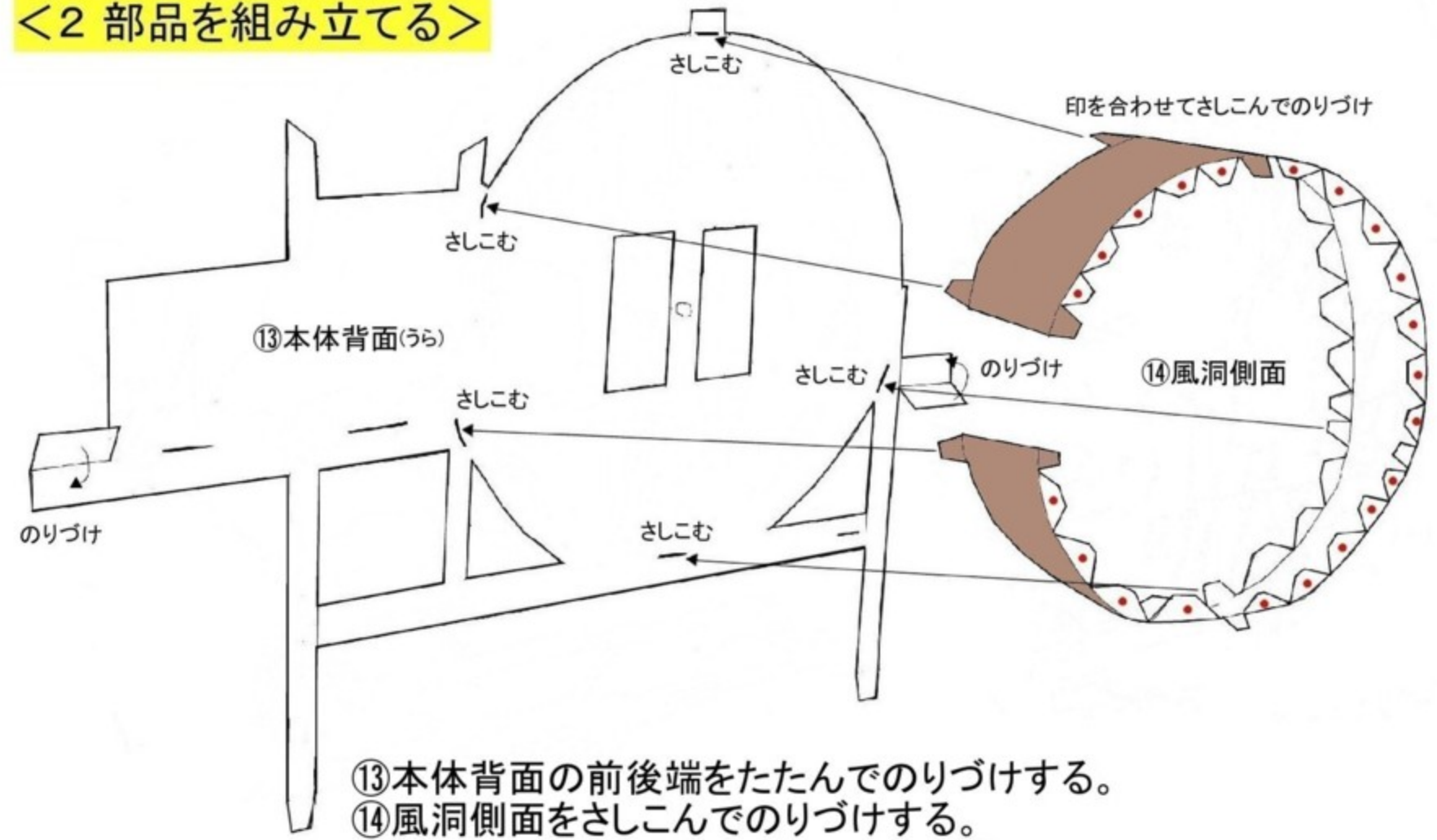
唐箕

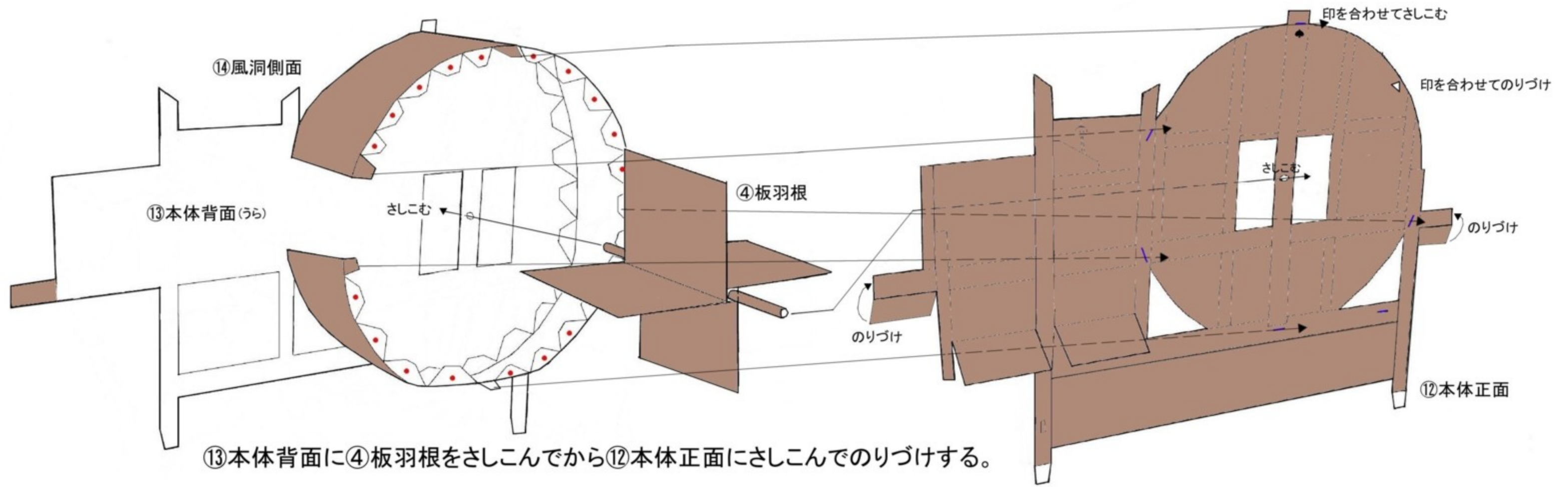
明治時代 大阪・京屋七兵衛製

唐箕とは手回しの風車で穀物等を選別する農具です。穀物を入れる「漏斗」、板羽根を回転して風を起こす「風洞」、穀物等を選別する「風選」とからなります。風選によって重い粒が漏斗下の樋口より流れ落ち、やや軽い粒が次の樋口より流れ、わらくずなどは風選の出口から排出される構造になっています。なお、京屋は江戸～大正時代にかけて大坂(大阪)農人橋2丁目に本拠を置いた製造業者で、ここで作られた唐箕は西日本一帯に広く普及しました。

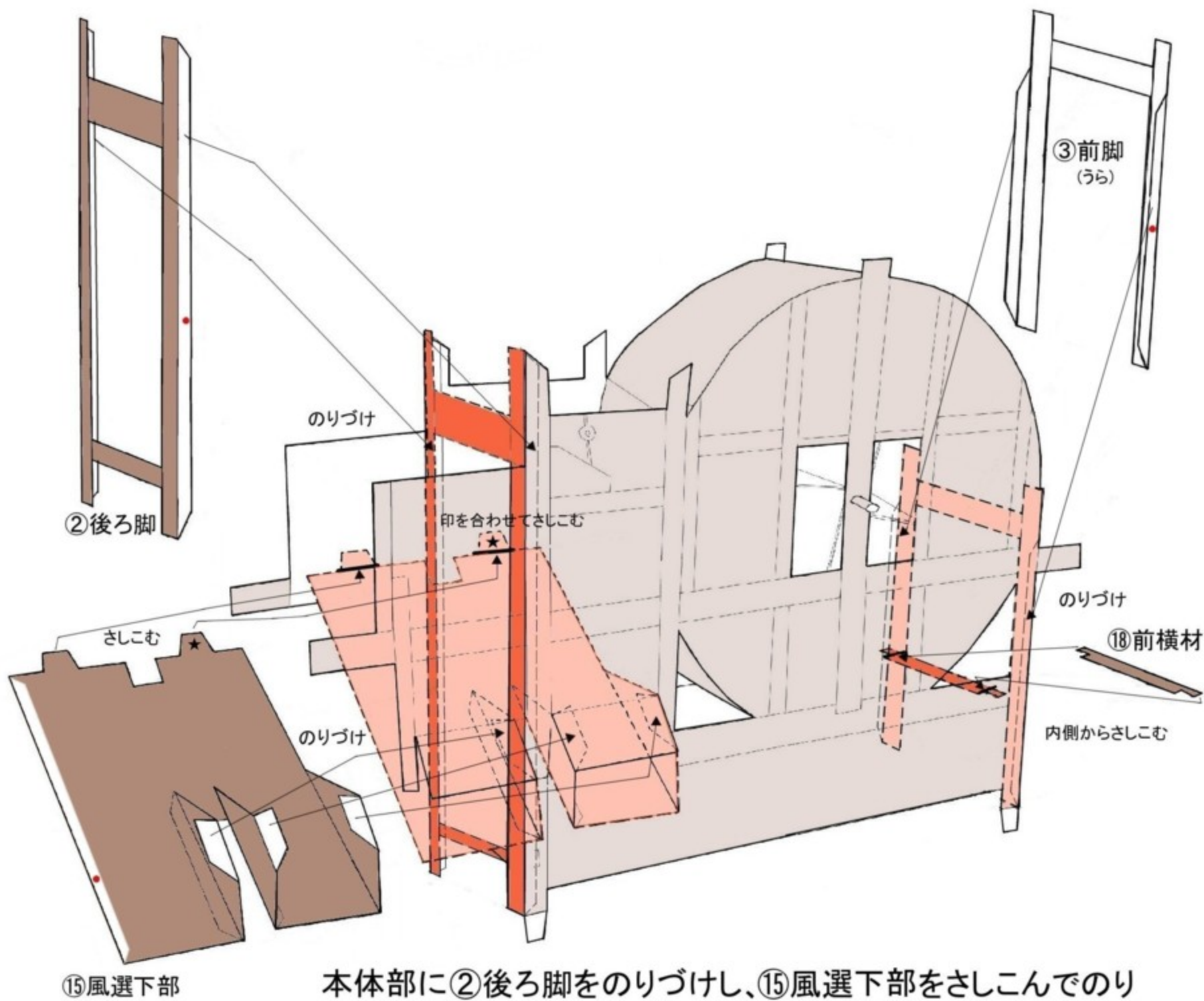


<2 部品を組み立てる>

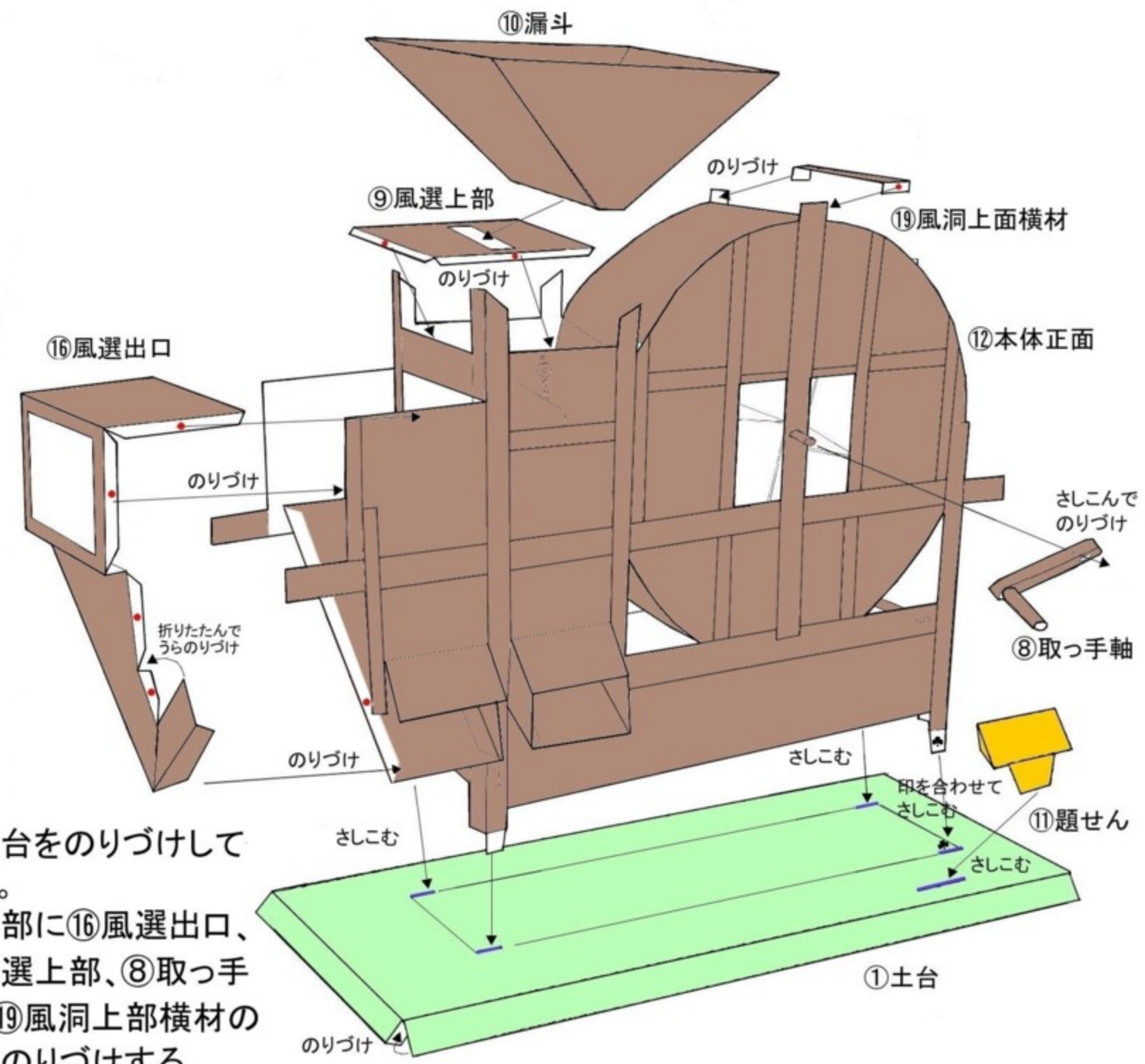




⑬本体背面に④板羽根をさしこんでから⑫本体正面にさしこんでのりづけする。



本体部に②後ろ脚をのりづけし、①⑤風選下部をさしこんでのりづけする。③前脚をのりづけし、①⑧前横材を内側からさしこむ。



①土台をのりづけして作る。本体部に①⑥風選出口、⑨風選上部、⑧取っ手軸、①⑨風洞上部横材の順にのりづけする。

本体部と①⑪題せんを①土台にさしこんで、最後に⑩漏斗を⑨風選上部に置いて完成。